



受付日：平成30年4月12日
受付番号：HP18-KT038

接合部性能試験成績証

試験結果は以下のとおりであることを証明する。
平成30年6月11日

東京都港区芝5-33-7
徳栄ビル本館4階
ハウスプラス確認検査株式会社
代表取締役社長 柳澤 恒雄

1. 接合金物名称	JWウイングホールダウン22
2. 試験依頼者	株式会社 カナイ 〒340-0833 埼玉県八潮市西袋717-1
3. 目的	① 枠組壁工法建築物の接合部の「基準許容応力」及び「基準終局耐力」を試験により評価する。 ② 「基準許容応力」から「降伏耐力」を算出し、「基準終局耐力」との比較結果より、「短期許容耐力」を確認する。
4. 試験内容	たて枠端部接合部の引張試験 なお、準拠する試験方法・評価方法は2007年枠組壁工法建築物構造計算指針による。
5. 試験体仕様	<p>1) 接合金物</p> <p>「JWウイングホールダウン22」 材 質: SPHC*1 寸 法: 40mm×50.5mm×172mm(外形) 板厚t=4.5mm 接合具用孔 5-φ6.6mm 表面処理: デュラルコート*2</p> <p>2) 接合具</p> <p>「鍋頭ねじ(ドリル先) φ6.0×90」 5本 材 質: 以下の化学成分を満足する冷間圧造用炭素鋼 C(0.18~0.23%), Si(0.10%以下), Mn(0.70~1.00%), P(0.030%以下), S(0.035%以下), Al(0.02%以上) 寸 法: 頭部径φ9.85mm 胴部径φ5.9mm ねじ山径φ6.25mm ねじ谷径φ4.45mm ねじピッチ2.2mm L=90mm(ねじ部長さ75mm) 表面処理: デュラルコート*2</p> <p>「全ねじボルトM16」*3 1本 「六角ナットM16」*3 1個</p> <p>3) 枠組材料</p> <p>たて枠材: 38mm×89mm×1,000mm スギ 枠組壁工法構造用製材 甲種2級 3本 含水率: 8.5~10.5% 全乾密度: 0.36~0.44g/cm³</p> <p>4) その他</p> <p>たて枠同士の接合: 太め鉄丸くぎCN-90 14本(片面7本)打ち @150千鳥</p> <p>*1 引張強さ270N/mm²以上の鋼板 *2 JIS H 8610及びJIS H 8625 電気亜鉛めっきEp-Fe/Zn 8/CM 2 C以上の防錆処理 *3 Zマーク規格品</p>
6. 試験条件等	試験体は、全ねじボルトM16及び六角ナットM16を用いて、鉄骨架台に手締めにて固定した。 また、たて枠の偏心防止のためサポート治具を設けた。
7. 試験結果	基準許容応力 14.99 kN、基準終局耐力 35.80 kN、短期許容耐力 22.48 kN (詳細については接合部性能試験報告書に示す)
8. 試験場所	ハウスプラス確認検査株式会社 横浜第二試験所: 神奈川県横浜市鶴見区矢向1-1-1 10番
9. 試験実施日	平成30年4月19日
10. 試験実施担当者	ハウスプラス確認検査株式会社 評定部 家納 吾郎 道場 信義 所 義登

この接合部性能試験成績証を転載するときは、必ず全文を記載してください。